

特別展

生誕
130年

吉屋信子展

Nobuko Yoshiya

The Origins of
Sisterhood

シスターフッドの源流

県立神奈川近代文学館

横浜・山手 港の見える丘公園内

2026年4月4日(土) - 5月31日(日)

【開館時間】9:30~17:00(入館は16:30まで) 【休館日】月曜日(5月4日は開館)

【観覧料】一般800円(600円)、65歳以上・20歳未満及び学生400円(300円)、高校生100円(100円)、中学生以下は無料

* ()内は20名以上の団体料金

【編集委員】齋藤美奈子

【主催】県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会

【後援】NHK横浜放送局、FMエフ・エム、神奈川新聞社、TBS

【協賛】国書刊行会、京急電鉄、相模鉄道、東急電鉄、横浜高速鉄道、神奈川近代文学館を支援する会

【広報協力】KAAT 神奈川芸術劇場

〒231-0862 横浜市中区山手町110

Tel. 045-622-6666 <https://www.kanabun.or.jp>

【最寄り駅】東急東横線直通・みなとみらい線 元町・中華街駅6番出口から徒歩10分

Kanagawa Museum of Modern Literature

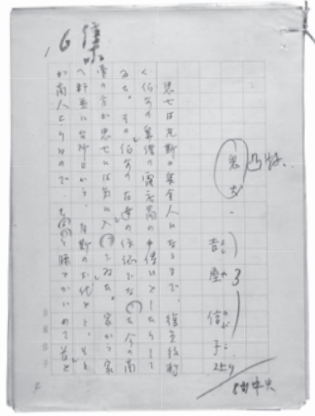
特別展 生誕130年

吉屋信子展

Nobuko Yoshiya



The Origins of Sisterhood



1



2

吉屋信子（1896-1973）は1916年（大正5）、20歳で作家デビューし、大正、昭和を通じて、旺盛な活動を続けた人気作家です。とりわけ連作短編集『花物語』は、女学生を中心に熱狂的な支持を集め、日本文学史に少女小説というジャンルを築くに至りました。旧来の文壇で少女小説が相対的に低い地位にあったのは否めませんが、いま振り返ると、信子の生き方や作品は「一周回って最先端」といふべき先取性に満ちたものでした。その際のキーワードが、女性同士の連帯や共生を意味する「シスターフッド（Sisterhood）」です。作中で多様な女性像や女性同士の関係を描き、自身も同性のパートナーと生涯をともした信子は、まさにシスターフッドの源流に位置する作家でした。

神奈川近代文学館ではご遺族から受贈した資料約3,000点を吉屋信子文庫として保存し、また近年も新資料を含む追加寄贈を受けています。本展ではこれらの資料を中心に、吉屋信子の人生と作品に「女性同士の絆」という観点から新たな光を当て直します。（斎藤美奈子）



3



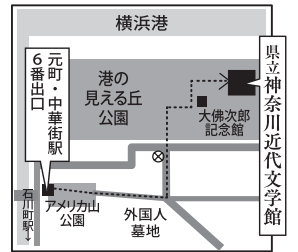
4

- 1: 「鬼火」原稿「婦人公論」1951年2月号に掲載 戦後の荒廃した世相を背景に、怪奇性、幻想性に富んだ作品を多数発表した時期の一作。第4回女流文学者賞受賞。
- 2: 須藤重画「あの道この道」挿絵原画「少女倶楽部」1935年6月号に掲載 生後まもないころすり替えられ、まったく異なる境遇で育った2人の少女・千鶴子としのぶをめぐる物語。講談社蔵

- 3: 日記 1928年6月30日『現代長篇小説全集』（1928～1930年 新潮社）で得た莫大な収入で、1年間の欧州遊学を決断。日記に綴った「私はタンクダ」から始まる詩に、洋行への強い思いを込めた。
- 4: 愛用のバッグと鎖時計
*3、4は当館蔵・吉屋信子文庫

ACCESS

※駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。
〈東急東横線直通・みなとみらい線〉元町・中華街駅下車 6番出口（アメリカ山公園口）から徒歩10分
〈バス〉神奈川中央交通バス⑩系：桜木町駅～保土ヶ谷駅／横浜市営バス②⑨系：桜木町駅～山手駅／観光スポット周遊バス「あかいくつ」 いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩3分
〈JR根岸線〉石川町駅下車 元町口（南口）から徒歩20分



〔次回展示〕企画展「アニメ『文豪ストレイドッグス』十周年記念展～文豪とのゼイタクな邂逅～」2026年6月6日（土）～7月12日（日）
*2026年は春から1年を通しての記念コラボも実施します。
「吉屋信子展」ではワークシート参加者に特典を差し上げます。

シスターフッドの源流

本展記念イベント ※詳しくはホームページ等でご確認ください。

①～④=チケットは、当館ミュージアムショップ（直接来館）、またはローソンチケット（Lコード）で販売。先着順で定員になり次第販売を終了します。
会場：①～④=展示館2階ホール（各日定員220名）、⑤=展示館1階エントランスホール

①講演会「一周回って最先端 吉屋信子とシスターフッド」

4月18日（土）14:00～
講師：斎藤美奈子（文芸評論家、本展編集委員）
料金：一般1,200円（友の会会員1,000円）
[Lコード30842]

②講演会「正しい乙女のシスターフッド」

5月2日（土）14:00～
講師：嶽本野ばら（作家）
料金：一般1,200円（友の会会員1,000円）
[Lコード30843]

③講演会「今、吉屋信子がおもしろい理由」

5月30日（土）14:00～
講師：柚木麻子（作家）
料金：一般1,200円（友の会会員1,000円）
[Lコード30845]

④文芸映画を観る会「福寿草」

（1935年 45分 無声映画・活弁付き DVD上映）
5月16日（土）14:00～ *アフタートークあり
活弁とトーク：山内菜々子
料金：一般1,200円（友の会会員1,000円）
原作：吉屋信子『花物語』
監督・脚色：川手二郎
出演：江川なほみ、久松三津枝ほか
*初めてご参加の方は上映会当日に「文芸映画を観る会」入会登録（無料）をお願いします。
[Lコード30844]

⑤スライドトーク（職員による展示説明）

会期中の毎週金曜日 14:00～
参加無料（要展示観覧料）・申込不要
*「吉屋信子展」と「集英社コバルト文庫50周年 とくめくことばのちから展」（2026年4月29日～5月10日）の両展をご観覧の方に、特典をプレゼント！
※詳しくはオレンジ文庫ホームページ等をご確認ください。

〈吉屋信子の本〉

乙女のための源氏物語（上下）
角田光代・田辺聖子解説
須藤しげる画

各2,420円（税込）

2,750円（税込）

国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15 <https://www.kokusho.co.jp>

公式図録

生誕130年 吉屋信子 シスターフッドの源流

編著：国立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会
執筆：斎藤美奈子、王谷晶、嵯峨景子、山内マリコ、横川寿美子

A5判/総176ページ/予価：2,200円+税/
2026年4月4日発行予定/港の人

